

令和2年度 更新確認申請書

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | せいとく介護こども福祉専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 成徳学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|------------|--------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 教育社会福祉専門課程 | 介護福祉科 | 夜・通信 | 165 時間 | 160 時間 | |
| | こども福祉科 (保育士・幼稚園教諭コース) | 夜・通信 | 165 時間 | 160 時間 | |
| | こども福祉科 (保育士コース) | 夜・通信 | 165 時間 | 160 時間 | |
| | | | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| http://www.seitoku-g.ac.jp |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | せいとく介護こども福祉専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 成徳学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|---|
| http://www.seitoku-g.ac.jp |
|---|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|----------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| 非常勤 | 北海道議会議員 | 令和元年6月8日～ 令和3年6月7日 | 組織運営体制への チェック機能 |
| 非常勤 | 札幌市議会議員 | 令和元年6月8日～ 令和3年6月7日 | 組織運営体制への チェック機能 |
| 非常勤 | 札幌市身体障害者スポーツ協会会長 | 令和元年6月8日～ 令和3年6月7日 | 経営計画の策定 |
| 非常勤 | 社会福祉法人溪仁会 法人本部人事部長 | 令和元年6月8日～ 令和3年6月7日 | 経営計画の策定 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | せいとく介護こども福祉専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 成徳学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各教科において、授業の方法や内容、到達目標等の検討を行い、共通認識を持って各担当科目において作成している。 ホームページ上に公表する。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | http://www.seitoku-g.ac.jp |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲の把握をし、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。レポートや卒業論文について、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学年、前期・後期に「秀・優・良・可・不可」の成績を数値化し、その平均点をもって成績分布表を作成する。 ホームページ上で公表する。</p> | |
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <p>http://www.seitoku-g.ac.jp</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページ上で公表する。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p> | <p>http://www.seitoku-g.ac.jp</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | せいとく介護こども福祉専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 成徳学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | http://www.seitoku-g.ac.jp |
| 収支計算書又は損益計算書 | http://www.seitoku-g.ac.jp |
| 財産目録 | http://www.seitoku-g.ac.jp |
| 事業報告書 | http://www.seitoku-g.ac.jp |
| 監事による監査報告（書） | http://www.seitoku-g.ac.jp |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---------|----|-----------------------|--------------|-----------|-----------|------|----|
| 教育・社会福祉 | | 教育社会福祉専門課程 | 介護福祉科 | ○ | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1940 単位時間/単位 | 950 時間 | 540 時間 | 450 時間 | | |
| | | | 1940 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 160人 | | 37人 | 9人 | 5人 | 18人 | 23人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 各教科において、授業の方法や内容、到達目標等の検討を行い、共通認識を持って各担当科目において作成している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲の把握をし、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。レポートや卒業論文についても、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページ上で公表する。 |

| |
|--|
| 学修支援等 (概要) クラス担任制をとっている。 面談(学生・保護者)、居住先訪問、スクールカウンセラーの導入 |
|--|

| | | | |
|--|----------|-------------------|----------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 6人 (100%) | 人 (%) | 6人 (100%) | 人 (%) |
| (主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、障害者支援施設 | | | |
| (就職指導内容) 就職ガイダンスを1年より7回実施、その他必要に応じて個別指導をしている。 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士受験資格・レクリエーションインストラクター | | | |
| (備考)(任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|-------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 34人 | 9人 | 26.5% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、身体的理由等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制、実習・就職のための学力確認試験、基礎学力を含めた補習、個別面談、保護者面談、スクールカウンセラーの導入、教職員全体会議(週1回) | | |

| | | | | | | | |
|----------|----------------|---------------------------|-------------|------------|-----------|----|----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 教育・社会福祉 | 教育社会福祉 専門課程 | こども福祉科 (保育士・幼稚園教諭コース) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1875 単位時間/単位 | 525 時間 | 1005 時間 | 430 時間 | 時間 | 30 時間 |
| | | 1990 単位時間 | | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 80人 | 25人 | 0人 | 8人 | 27人 | 35人 | | |

| | | | | | | | |
|----------|----------------|---------------------------|-------------|-----------|-----------|----|----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 教育・社会福祉 | 教育社会福祉 専門課程 | こども福祉科 (保育士コース) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1865 単位時間/単位 | 525 時間 | 915 時間 | 395 時間 | 時間 | 30 時間 |
| | | | 1865 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 80人 | 33人 | 0人 | 8人 | 27人 | 35人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 各学科において、授業の方法や内容、到達目標等の検討を行い、共通認識を持って各担当教科において作成している。 ホームページ上で公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲の把握をし、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。 レポートや卒業論文についても、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページ上で公表する。 |
| 学修支援等 |
| （概要） 面談（学生・保護者）、居住先訪問、スクールカウンセラーの導入 |

| | | | |
|--|----------|-------------------|----------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 27人 (100%) | 人 (%) | 27人 (100%) | 人 (%) |
| (主な就職、業界等) 保育園・幼稚園・認定こども園・児童養護施設等 | | | |
| (就職指導内容) 就職ガイダンスを1年より7回実施、その他必要に応じて個別指導をしている。 | | | |

| |
|---|
| (主な学修成果 (資格・検定等)) (保育士・幼稚園教諭コース) 保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事任用資格 介護職員初任者研修 (保育士コース) 保育士・児童厚生員 2 級・児童体育指導者講習 介護職員初任者研修 |
| (備考) (任意記載事項) |

| | | |
|--|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 60 人 | 5 人 | 8.3% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更・身体的理由等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制、実習・就職のための学力認定試験・基礎学力を含めた補習、個別面談、保護者面談、スクールカウンセラーの導入、教職員全体会議 (週 1 回) | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 介護福祉科 | 100,000 円 | 660,000 円 | 360,000 円 | |
| こども福祉科 | 100,000 円 | 600,000 円 | 230,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 学生費用援助制度 (入学後、年間授業料のうち、最大 100,000 円免除) 学費サポート制度 介護職員初任者研修優遇制度 (入学金の一部 50,000 円免除) リレーションシップ制度 (入学金全額 100,000 円免除) 母子家庭・父子家庭支援制度 (入学金の一部 30,000 円免除) 低所得世帯支援制度 (入学金の一部 30,000 円免除) 再進学支援制度 (入学金全額 100,000 円免除) | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|-------------------------|-------|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seitoku-ga.c.jp | | |
| 学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) | | |
| <p>(1) 主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学業成績、学生支援 教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守等</p> <p>(2) 評価委員の構成 企業等 4名 卒業生 1名 合計 5名</p> <p>(3) 評価結果の活用方法 毎年7月に学校関係者評価委員会を開催し、結果に基づき、自己点検と合わせた分析をしたのち、8月に職員会議を開催して教職員と共有をはかり、学生指導等に活用していく。</p> | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 障害者支援施設 札北荘 施設長 | 平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 | 企業等委員 |
| 特別養護老人ホーム 青葉のまち 施設長 | 平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 | 卒業生 |
| 光星はとポッポ保育園 園長 | 平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 | 企業等委員 |
| 特別養護老人ホーム 厚別栄和荘 施設長 | 平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 | 企業等委員 |
| 前 北海道文教大学 教授 | 平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 | 学識経験者 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seitoku-ga.c.jp | | |
| 第三者による学校評価(任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seitoku-ga.c.jp |
|--|